今月の読みどころ

2面　東商連　ブロック宣伝行動をおこなう
3面　長寿を祝う会　葛飾民商共済会
4面　核兵器のない世界の実現を
　　今年も！平和行進あるいた！

ホームページ 東商連 ⇒ 検索
電子メール mailadm@toshoren.jp

東京商工新聞

第386号
発行　東京商工団体連合会
〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
電　話　03-5692-5081
ＦＡＸ　03-5692-5091
発行責任者　井賀眞一

仲間の輪が広がった
東青協ウェルカムパーティーを開催

ようこそ民商青年部へ

東青協は4月26日、東商連会館で新入部員歓迎会を開催。参加者のうち新入部員は6人でした。それぞれに商売、民商をはじめたきっかけを語り、ヨコのつながりを広げ、商売も民商も大きくしたい、と交流を深める歓迎会となりました。

今年のウェルカムパーティーはこの1年間の新入部員の歓迎と、業者青年の交流を目的に開催されました。10民商から30人があつまり、商売や民商についてにぎやかに交流しました。

参加者のうち新入部員は6人、またこれから入部を考えている業者2世や従業員が6人参加しました。

歓迎会は渡邊副議長のあいさつで始まり、全青協の下杉事務局長、共産党の白石都議会議員がお祝いのあいさつを述べました。参加した新入部員の自己紹介では「先代から商売を継いでどうにか落ち着いてきたので入会・入部した」（不動産）「入会した時に青年部も誘われました。民商も青年部も元気にしたい」（葬祭）「商売と一緒に民商も大きくしたい」（司法書士）など、積極的なアピールが続きました。

全員発言では荒川民商の志賀青年部長から「民商で紹介されたつながりから縁がひろがり、今日は仲間としていっしょに参加出来て良かった」と青年部の前進も語られ、商売・民商の未来を感じる交流の場になりました。

スキヤキセット　ゲット!!

楽しく歓談

毎年恒例の新入部員へのプレゼント抽選では「スキヤキセット・東青協スペシャル」が今年も好評でした。

福井での全国業者青年交流会（9月14～15日開催）に向けては、東青協幹事の武藤さんが「前回初参加でしたが、大人の修学旅行です。商売にもいきる楽しさがあります一緒に行きましょう！」と仮ビラを使って参加を呼び掛けました。

最後に安井議長から「今日をきっかけにヨコのつながりも増やし、商売・民商を大きくしましょう！」とこれからにつなげる挨拶で締めくくられました。

参加した新入部員からは「初めての参加で馴染めるか心配でしたが、皆さん明るく前向きな方ばかりで、楽しく交流ができました。また次回も参加したいです」と感想が寄せられています。

今回の開催では、参加した対象者の入部や、参加呼びかけの中での入部もあり、「今回は間に合わなかったけど夏・秋の取組みに向けて青年部を再起動させよう」という民商もあり、仲間増やし、組織建設にもつながる歓迎会となりました。

あきない

東商連の副会長になって7年目を迎えます。この間、自分の弱さや力不足を思い知りました。責められていると勝手に傷つき、周りの人が信じられなくなった時期、民商をやめれば楽になれると、逃げることを考えた時、その都度、優しく見守り、励まし、時には厳しく諭してくれるよき先輩と出会えました。この方たちと接することができたのも、東商連三役になっていたおかげです▼知ること、考えること、仲間と一緒に希望を持ち、目標達成の努力を怠らないことを学びました▼今、消費税増税などで東京の業者は元気を失っているように見受けられます。悪政に反撃するには、全会員が心をひとつにして仲間を増やす、これが、わが商売を守ることだと知ることです。「集まって話し合う」ここから始めましょう▼私も民商運動が最後の社会参画になるだろうと肝を据え、温故知新をモットーに、会員倍増を今季からの目標に、邁進していこうと決心しています。微力ながら頑張ります。

（東商連副会長　武藤幸子）

消費税これ以上の増税は困ります
「10%へ増税は中止を」の声を広げよう
東商連　ブロック宣伝行動をおこなう

増税はいやです

宣伝カーから訴えます

署名にご協力ください

消費税が4月から増税され、重い税金や社会保険料の負担、原材料や生活必需品の高騰で営業も暮らしも大変な事態にあります。

大企業は利益を増大させていますが、労働者の賃金や下請けの単価は上がらず、消費購買力は冷え切ったまま、景気回復などまったく実感できない状況です。そこで、5月13日から21日にかけて、東商連は「消費税を5%に戻し、増税中止を求めるブロック宣伝」に取り組みました。

各ブロックでは民商から役員、事務局が複数参加して、署名宣伝行動を行いました。

13日の中部ブロックの宣伝は、浅草の雷門前と上野のABAB前で行われ、台東、浅草、文京、中央の各民商と東商連から役員・事務局12人が参加しました。

安部東商連副会長が宣伝カーから訴える中、チラシを配りながら、署名への協力をお願いしました。「増税はもう決まったのでは?」という通行人の方も、「国会に増税反対の声を届けます。署名にご協力を」と話すと快く応じてくれました。また、宣伝カーからの訴えを聞いていた香港から来たという方も署名してくれるなど、いろんな反応がありました。

14日の西部ブロックの宣伝行動は新宿駅西口、中野駅北口で行われ、新宿、杉並、中野、渋谷と東商連から18人が参加しました。

宣伝カーからの訴えを15分ほど立ち止まって聞いていたご婦人は、聞き終えて署名しながら「いいことを言っているのだからもっと大きな音で宣伝したらいいんじゃない?うちの娘も結婚して商売をしているけれど、消費税が10%になったら本当に大変だと言っている。もっと自信を持って大きな声で宣伝してください」と話されました。

世論調査では「日本経済の先行きに不安を感じている」という回答は「ある程度」も含めると67・5%に上ります。

「消費税増税はやめて」の声を大きくし、世論を形成していくために、民商は元気な宣伝行動を各地で取り組んでいます。

増税は業者をつぶす！
10%中止して5%にもどせ！
国会議員要請で怒り伝える

増税反対の声をうけとめてください

4月23日、消費税8%への増税が実施されてから初の消費税廃止各界連絡会での国会議員要請が取り組まれました。東商連は3民商から10人が参加して、衆参両議院の財務金融委員に「10%への増税中止を!」と怒りとともに要請を行ないました。

参加した武藤東商連副会長は「庶民も業者も日々の暮らしの中で増税に苦しんでいる。反対の声を受け止めて10%への増税は中止にしてほしい」と要請しました。訪問先の自民党議員の多くが秘書が対応し、そのうえ「党の方針で増税を推進としている」と参加者の要請の声に耳を傾ける姿勢はみられず、公明党議員の秘書は「地元では（増税を）丁寧に説明し理解してもらっている」と話していました。

玉川民商から参加した中西さん（家具修理）は「消費税増税が景気をドン底に落とすことは私たちの実感だけでなく経済学者も言っている。この声に耳を傾けるべきだ」と怒りとともに要請文を渡しました。行動後の感想では「とても国民の声を聞く態度とは思えない。もっと多くの参加で私たちの声を届けないと」と参加者を広げなくては、との声が出されていました。

西から東から

■スポーツ吹き矢で楽しんでいます　世田谷民商

世田谷民商では第4月曜日を除く毎週月曜に、スポーツ吹き矢を行っています。指導するのは東部支部の菊川さん（指圧）です。

「スポーツ吹き矢は礼に始まり礼に終わるスポーツ。型ができていないと点数が没収されてしまいます。これがないと、ただの的あてゲームになってしまいますから」と菊川さん。「民商で吹き矢をやっているというと、よそでやっている人から羨ましがられます。よそでは自分の順番が回ってくるまで30分以上待つこともざらですから。民商なら、今のところ参加者もそこまで多くないのですぐにできます。ぜひ参加してください」とも話します。

この日参加した堀部さんは、調子よく高得点を連発していました。

■新入会員歓迎会を開催　江東民商

江東民商は5月13日、民商事務所で新入会員歓迎学習会を開催しました。今年の春の運動で入会した2人を含めて、7人が参加しました。参加した役員は教育宣伝部員が3人と、新入会員の所属支部の役員が1人、そして上原会長です。

教育宣伝部員の小野さんの司会ではじまり、まず全商連のDVD（仲間を増やして全商連総会を成功させよう）を視聴しました。その後、上原会長から江東民商の運動の歴史について話しました。

懇親会では参加者が自己紹介を行い、新入会員の2人は「住宅設備機器の据え付けをしている。民商で申告の仕方も覚えてがんばっていきたい」「大手のリフォームの仕事をしていたが、これからは地域の人と密着した仕事をしていきたい」と話しました。

参加した役員もそれぞれ自分の商売や民商について話し、和やかに歓談し、懇親を深めました。

ニュース笑アップ

芝岡☆友徳行

商売繁盛

薬局・コンビニ
ヤマザキYショップ

野本　純一さん
調布市深大寺北町7-42-4
TEL.042-483-5261

249

11年前、店舗の前の道路の拡幅工事をきっかけに、薬局からコンビニエンスストアに業態変更しました。

もともとは助産婦だった野本さんのお母さんが昭和30年代にこの場所で助産院を開業していました。野本さんのお母さんは、ラマーズ法を取り入れた自然分娩でのお産をいち早く取り入れて、地域でも信頼される助産婦さんでした。亡くなるまでに5000人以上の赤ちゃんを取り上げたそうです。

職業軍人だったお父さんは戦後抑留されて、復員してから薬問屋に就職しました。その後、お母さんとお見合い結婚をして近くに薬局を開業し、営業を続けていました。

野本さんはもともと家業を継ぐというこだわりはなく、大学も文系に進んだのですが、就職となった時に、会社の中で働くより家業を継ごうと考えて、都道府県で資格が取得できる薬種商販売業の資格を取り、家業を継ぎました。

しかし、たび重なる規制緩和で薬の販売だけではこの先厳しくなると考えた野本さんは、思い切ってヤマザキショップに業種を変更しました。「それでも商売は厳しいです」と野本さん。「4月はただでも物入りで、売れない時期。その上今年は消費税の増税もある。諸物価は値上がりし、年金生活の方は年金額が削減されて苦しい。物を買う可処分分が減少していると感じます」と話します。

大手のドラッグストアなどの影響で町の薬屋さんはどんどんなくなっている現状です。存在価値はなんなのかと考えることもあります。でも、昔からのお付き合いのお客さんとのつながりを大事にしたいと厳しい中で頑張っています。「企業に寄るのではなく自分が満足できる、存在感が確認できる商売がしたい。薬の相談だけでなく、コピー機の扱いが不慣れな高齢のお客さんが、気軽に声をかけてコピーを頼んでくれるような関係を大事にしていきたい」

道路拡幅の工事が突然計画変更された時にはいち早く反対運動に加わった気骨の人でもあります。

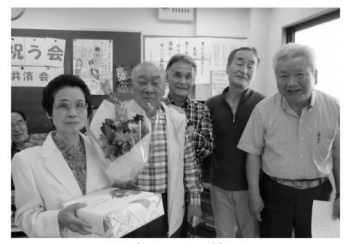
長寿を祝う会

葛飾民商共済会

みなさん笑顔で　ハイポーズ

4月26日ゴールデンウィークの始まり、青空の広がる爽やかな土曜日のお昼、葛飾民商共済会は「長寿を祝う会」を開催しました。佐藤征夫さんの司会で始まり、保谷理事長が「ご長寿おめでとうございます。今年は75歳を迎えられた方は15名います。そのうち今日は5名の方が出席して頂きました。75年間の間には楽しい事もつらい事もあったと思いますが、今日は長い人生のいろんな事を話して頂きながらお祝いをして行きたいと思います」とあいさつしました。

増田会長から「本日はおめでとうございます。東京の中でも共済会でこういう素晴らしい取り組みをしているところは少ない。良い取り組みだと思っています」とお祝いを述べました。柳沼さんの音頭で乾杯をしてしばし歓談。


記念品を贈呈

野口さんは「民商に入ったのは42歳の時。初めは江戸川で商売をしていたので江戸川で役員をしていた。葛飾の皆さんと一緒に活動しはじめたのは3年前。30年間取引先は1社のみ。今はそれが弱みになっている」

宮久保さんは「本屋を独立して始めた。民商との係わりは、当時民商の中にソフトボールのチームが5～6チームあった。そのおかげで今もソフトボールを続けている朝五時半にはグラウンドに入る。体を動かさなきゃいけない」

藤崎さんは「相続があって榎木さんの紹介で民商に来て入会。不動産を1000万売ったら所得税と次の年の住民税、健康保険料で3割ぐらい納めるようになった。初めて税金って重たいとわかった。昨年大腸癌が発見されて今年の2月に手術を受けた。健康が一番、皆さんも健康には注意して下さい」

ご夫婦で参加された佐藤さんは「民商にはずっとお世話になっています」とお話しました。

田中さんも急いで駆け付けてくれました。出席予定者が全員そろったところで改めて乾杯。長寿を喜び合いました。参加されていた役員の皆さんからも一言ずつ御祝いの言葉が述べられて和やかに進められました。最後はみんなで記念写真を撮りました。

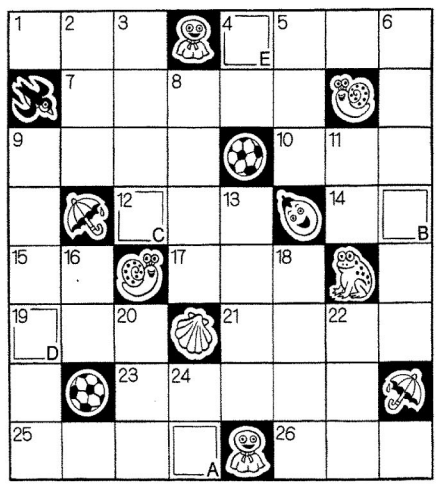
ご長寿おめでとうございます

こんにちは☆事務局員デス。

玉川民商事務局員
岡田　里志

今年の2月から玉川民商に事務局員として入局しました。ちょうど確定申告の時期と重なっていたということもあり、つわもの揃いの会員さんたちにもまれて、てんやわんやでした。厳しい経済状況ですが、そんな時だからこそ民商の役割も大きくなっています。会員さんのパワーに負けないようがんばります！

お楽しみ図書カードが当たる
ザ・クロスワード
No.68



応募要領

●答えはハガキ・ファックス・メールに書いて東商連まで送ってください。所属民商名・団体名も。（締切は毎月第2月曜日）。なお、ひとこと紙面についてのご意見・ご要望・営業とくらしなどの状況をお寄せください。

●正解者多数の場合は抽選で、5人に図書カードをプレゼント。発表は紙面に掲載します。

◆ヨコのカギ

1 大リーグのヤンキースで活躍中の……将大投手
4 6月は水無月（みなづき）、7月は？
7 室内装飾。……デザイン
9 戦後のベビーブーム時代に生まれた……世代
10 予想外。……な出来事
12 ……10年の研究が実る
14 ランクは竹や梅より上
15 ……の上にも三年
17 つぎタレの……注文
19 カナダの首都
21 豚肉とパン粉で揚げる
23 デンデンムシとも言う
25 寿司屋で言うしょうゆ
26 ボクシングをする場所

◆タテのカギ

2 エイトとテンの間
3 物と物との間の距離
4 人の……見て我が……直せ
5 ……結婚
6 危ない瀬戸際。……のところで命拾い
8 一般に広く認められている説
9 桜桃忌で知られる作家
11 油を流すカエル
13 後ろから衝突
16 感心して……を巻く
18 位の高い人がかぶる
20 福井県南西部の……湾
22 ……酒。……あめ
24 ナイアガラの……

【解き方】カギを解いてクロスワードを完成したら、二重ワクの文字をうまくつないで言葉を完成させてください。

5月号のパズルの答え

ホタルイカ

次の方に図書カードをお送りします。5
○川居義明（大田区）
○窪田久子（調布市）
○山崎悦子（墨田区）
○田中今朝雄（大田区）
○林　順子（葛飾区）
敬称略

読者のひろば

商店は閑古鳥

私が住んでいる商店街も八百屋さん、豆腐屋さんも店を閉めてしまい、団地も建て替えで、スーパーが毎日チラシを入れ、安売りをするので商店は閑古鳥が鳴いています。何とか景気を良くしてもらいたく共産党を応援しております。

江戸川区・岡部洋子

短歌

愚痴一つ
言わずにここまで
助け合い
一度は温泉にでもと思います

西東京市・粕谷陽子

早やも八十九歳過ぎしかな

江戸川区・為貝利雄

変えてはならない

戦後日本は憲法九条による平和主義を厳しく守ってきました。

なのに安倍政権は集団的自衛権を容認しようとしています。国民的な論議もせず、多数の合意も得られないまま憲法九条を変えてはならないと思います。

西東京市・粕谷陽子

怒りが広がる

消費税の増税をあたかも国民の為であるかのごとく居丈高な安倍自公政権への怒りが広がるのは当然です。いま、どこの小売店でも「すみませんね、消費税が上がったものですから」と心から申し訳ないと声がかかります。詫びなければならないのは本当は、安倍内閣のはずなのに！

中央区・田辺七郎

悪政を食い止めましょう

五月に入り暑くなりました。今頃は冷房がなくても何とか過ごせますが、暑くなったら、またエアコン代がかかります。消費税増税、公共料金の値上げで生活はますます窮地に追い詰められます。自営業者の方は大変だと思います。サラリーマンもともに生活は窮地です。安倍政権は国民のことなど考えていません。私達の手で悪政を食い止めましょう。

足立区・高橋陽子

緑の日ぐらい

庭の草むしりがいそがしくなった。雑草さん、緑の日ぐらいやすんでよ。

小金井市・渡辺恒夫

絵手紙
葛飾区・土井蓉子

日本のモノづくりを担う蒲田の町工場

写真と文　蒲田民商元事務局長・写真家　松本 俊次

次世代へモノづくりの楽しさ・大切さを伝える（3）

大田区本羽田一丁目にある田村鉄工場は、町工場では数少なくなってきたタテ旋盤加工を行っている工場です。

戦後この工場は最盛期には百坪を超える工場の敷地に、タテ旋盤3台と大型の正面旋盤などの多くの機械が立ち並び、従業員を十数名かかえて稼働していた典型的な町工場でした。

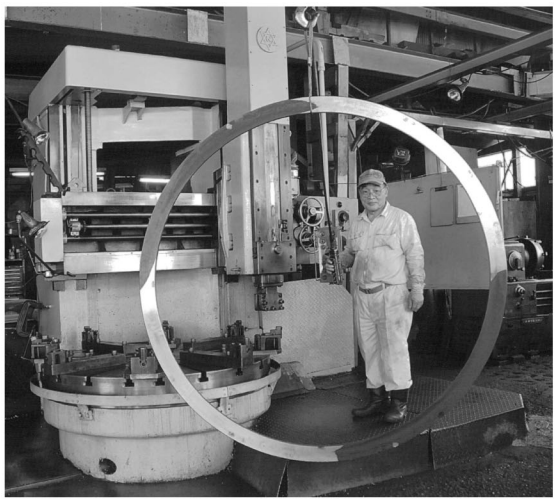
工場主の田村正則さん（68才）は二代目で、工業大学を卒業後父親の事業を引き継いできました。

主に発電機、船舶タービン部品加工には定評があり，難削材にも適切に対応ができるので、取引先からも感謝状をもらうなど、長年顧客からも信頼を得てきました。現在ではタテ旋盤と正面旋盤が各1台となり1人で取り仕切っています。受注は固定経費を維持するのがやっとのことで、仕事の減少が著しいといいます。また受注がくると特急納期で30時間加工にかかりきりとなるといいます。

写真は幅2メートルのリング状の加工物が出来上がったところです。

このような厳しい中でも田村さんは、蒲田民商の本萩支部長として支部活動の牽引役を果たすとともに、仕事起こしとして工業部会が取り組んでいる「小型風力発電機」の開発にも得意分野をいかして参加しています。

特に力を入れているのが次世代、若い人や子供たちへのモノづくりの大切さを伝える取り組みです。とりわけ社会科の見学授業に来る近隣小学生（1クラス30人・1日に3クラス）の子供たちに、小さな島国の日本がどうして工業先進国になったのか?と技術の大切さを強調しています。授業では世界地図や模造紙に、モノづくりの原点からの説明、超精密に仕上げるための百分の一ミリとはどんなものか?など書き上げ、こどもたちに集中して理解をしてもらう努力をしています。授業風景を語る田村さんの話には、社会科の担任教師を彷彿させる誇りと喜びに満ちた笑顔が印象的でした。



田村さんの授業は学校の先生からも大変好評で、毎年定例化してきているほどです。大田の工匠百人に選ばれた理由の一つに「近隣小学生の工場見学を受け入れて次世代へのものづくりの楽しさ・大切さを伝え、後進の育成にも貢献する。」との一文が添えられていました。

核兵器のない世界の実現を
今年も！平和行進あるいた！

5月6日から7日にかけて、国民平和大行進が都内を練り歩き、平和への歩み、核兵器廃絶の歩みを進めました。

5月6日、90日かけて広島へと続く行進が、江東区夢の島から出発しました。

出発集会には宗教者、第五福竜丸展示館館長、ヒバクシャ、通し行進者など800人が参加。全商連国分会長は行進の先頭に立って歩き、東商連からも4民商に加え、東婦協、東青協が全商連、全婦協、全青協の各ノボリのリレーのスタートを担いました。集会では福島県いわき市から都内に避難している小学生の男の子が「大人のみなさんが原爆も原発もない未来を僕たちに手渡してください」と力強い激励しました。

行進では「核兵器のない世界」「いいね！」、などの「いいね！コール」でアピールされ、音楽を流しながら核兵器廃絶のスピーチがされるなど、平和な雰囲気で歩かれ、沿道から手を振る人、団地の窓から手を振る人など、たくさんの応援を受けました。

5月7日は、前日のゴール地点である芝公園から品川駅前をとおり品川区、大田区をとおって神奈川へとリレーされました。

東京から神奈川へ　川崎市役所でリレー旗のバトンタッチ
全商連旗は蒲田民商から川崎中央民商へ

大田区のコースに参加した蒲田民商のかたは「車いすから手を振ってくれる人もいた、自分たちが楽しく行進することでまわりに影響を与えることになる」と感想を話しています。

俳句

石川貞夫選

葉桜や項にこぼる日のかけら
過去帳の夭逝多き若葉寒
大田区　石野　琴子
〔評〕花どきの過ぎた静けさを、姿で捉えて美しい。二句目。それは血筋か時代故か、寒々と思う。

紙兜鉄には替えぬ端午の日
足立区　山田正太郎
〔評〕孫に戦争の鉄兜は被せないと、心深く誓う作者。

ゴールデンウィーク電車みている親子かな
足立区　望月千恵子
〔評〕どこにも連れて行けなかったという悔いが親にはあるが、子どもは電車を見るのが大好きだ。

土間に落つ雛には高し燕の巣
熱海市　戸井　青峯
〔評〕数羽の雛の一羽か。親鳥と雛鳥に　心を重ねる。

ランドセルこれから一人で歩く日々
大田区　高橋　清美
〔評〕慈愛の子の成長を、頼もしくも淋しくも思う。

【投稿規定】ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。

遊ぶ子のいない公園綿毛とぶ
大田区　岡田　恭子
〔評〕少子化のせいだろうか。子どもの声のしない公園に、植物はせっせと繁殖の綿毛を飛ばす。

陽をつかみ毎日育つ柿若葉
大田区　馬場　恵子
〔評〕柿若葉の美しい季節。〈陽をつかみ〉が佳い。

薫風と共に吊橋一歩ずつ
江戸川区　岩崎　澄代
〔評〕薫風という同伴者は、吊橋をも揺らす曲者か。

帰国する教え子想い花みずき
杉並区　亀岡　良典
〔評〕紳士服の縫製を教えた生徒が帰国する、その先々を思いやる作者。花水木が胸に染みる。

鶯を走ってさがす孫二人
大田区　山根　康子
〔評〕美声の姿を必死に探す孫たちを、見守る作者。

＊他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を！